



ろばの耳便り

温かい「おもてなしの心」に感謝

小郡傾聴ボランティア

「でんでん虫」さんとの交流会

小郡市福祉センターあすてらすにて

令和七年六月二十日



小郡の傾聴ボランティア「でんでん虫」さんにお招きいただき、交流会に参加させていただきました。

「ろばの耳」会員十八名で福祉バスにて伺ったところ会場の玄関には「でんでん虫」の会員さん達が並んで迎えてくださいました。その温かいお心遣いに、交流会は最初から和やかな雰囲気になりました。

交流会では、代表の古賀が「ろばの耳」における在宅傾聴の流れについて説明し、「でんでん虫」さんにオンライン傾聴の実演体験をさせていただきました。会員の皆様が前向きに、デジタル機器を使ってもらえる姿に感銘を受けました。

その後、両会員が班となり、それぞれの傾聴に関する思いの談義で盛り上がりしました。帰りも「でんでん虫」の皆様は玄関までお見送りくださり感謝の気持ちでいっぱいになりました。傾聴は人なりという心を学ばせていただいた一日でした。



交流会参加者（でんでん虫11名、ろばの耳18名）



意見交換会



在宅傾聴説明会



オンライン傾聴体験

後半の人生

共に支え合い、心豊かに

養成講座開催

令和七年九月二十九日

『やさしい傾聴ボランティア』

講師：田島 清治（ろばの耳 元代表）

えーるピア久留米にて養成講座を開催し三十五名の方にご参加いただきました。

参加者のうち三名が新たにご入会くださり現在活動を開始されています。

参加者の皆様は、これからの人生をどのように生きていこうかと模索中なのではないかとお察しいたします。

講師の田島氏は「ろばの耳」の創始者であり、八十歳を過ぎられた今も、講演活動をはじめ、ハーモニカ奏者や趣味の版画作成など、幅広くご活躍されています。

皆様もぜひ、人生の後半を「世のため、人のため」、そして何よりご自身のために「ろばの耳」で共に豊かな時間を過ごしませんか。活動へのご参加を心よりお待ちしております。



※田島氏の蔵書を寄贈して頂き参加者にお持ち帰りいただきました

【参加者の言葉】

◆ これからの過ごし方への参考にしたいと思う。元気を頂いた。傾聴の大切さをより感じさせられた。

◆ 今まで、多くの専門家の話を聞きましたが、長い経験に基づいた田島氏の話には説得力がありますね

何度も何度も繰り返される話の中に...

高齢の方が同じ話を繰り返すのはなぜでしょうか。それは、社会との関わりや人付き合いが減り、話題が少なくなっていることも一因です。しかし、それ以上に、その出来事が本人にとって非常に大切な思い出だからに違いありません。

昔のことを懐かしく思い出しながら語ることで、**自身の人生をその人なりに総括**しようとしているのかもしれない。

「また同じ話だ」と拒否反応を示すのではなく、**積極的な興味や関心を持って耳を傾けてみてください**。そうすれば、毎回、全く同じ話になることはないでしょう。

激動の時代を生き抜いてきた一人の人間として、**相手の存在そのものを認め、肯定的な態度で向き合うことが大切**です。

多様な価値観を受け入れるためには、心のゆとりが必要です。それこそが、人に対する優しさと言えるのではないのでしょうか。

日本傾聴ボランティア協会編
高齢世代の傾聴より抜粋



個人傾聴のご案内

「ろばの耳」の会員が、ご自宅や傾聴サロンへお伺いします。

どんなお話でも構いません。あなたの思いに寄り添い、心を込めてお聴きします。

どうぞお気軽にご利用ください。

連絡先 ろばの耳事務局

☎〇九〇・九七九六・八三六

久留米市消防防災センターへ バス研修 災害の模擬体験

令和七年六月二十日

災害への備えの第一歩として皆で足を運んでみました

近年、地球温暖化の影響で台風や豪雨が激しく、頻繁に発生するようになり、大きな地震も起きています。こうした自然災害のリスクの高まりに備えることは不可欠です。

消防防災センターは、災害を模擬体験し、防火・防災の知識や技術を身につける施設です。消防本部に設置されているこのセンターは、「見て・触れて・体験して・楽しく学習」をコンセプトに、地域住民が楽しく学べる場所でした。

今回の経験を通して、災害に備えるためには、**まず災害を知り、災害について考えることが大切**だと改めて感じました。



初期消火体験



地震体験



台風体験



煙体験



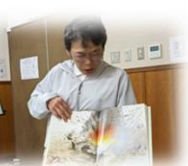
水害体験



「おねぼうさん、だあれ？」
楽しかったね～（中央）



優しいオカリナの音色に
癒されたね～（城島）



「3匹のこぶた」と
「3びきのかわいい
オオカミ」2つの絵本
が語る、真の教訓
（善導寺）



来年は「ろば年」（笑）

あおぞら月例会
外に出て人とふれあい
社会との繋がりをいつまでも！

令和七年十一月



編集後記 浮池

先日、傾聴の仲間が喜んで話してくれたことがあります。

お相手の方が

「今まで胸に塊のようなものがつかえていたけど、あなたと話してその塊のようなものが無くなったようで、とてもスッキリしました。ありがとうございます」

と言ってくださったそうです。

その後、ある本を読んでいたら、この一文が目にとまりました。

「誰かと話すと自分の気持ちを外に出すことができる、内側にあるどんよりとしたエネルギーが回転する」

これがまさにそうだったのかもしれないと思いました。

その方の心に溜まっていた何かは消えたので、はたか回転して流れ始めたのかも知れない。

本当に素晴らしい傾聴だったねと、心から仲間を褒めてあげたいです。

くるめ傾聴ボランティア ろばの耳会員募集

特別な資格は要りません。基本的な態度と姿勢、一通りの基礎知識を身につければ、どなたでも活動できます。ろばの耳の「傾聴活動」は日常の生活で「人の話を聴く」ことにも生かされ、笑顔で過ごせるようになります。

連絡先 ろばの耳事務局 ☎ 090-9796-8361

寄付者ご芳名

田島 清治 様

匿名 希望 様

御礼申し上げます